

## 火山噴火予知連絡会による新たな活火山の選定について

北海道内の 3 火山（天頂山、雄阿寒岳、風不死岳）について、過去 1 万年以内に噴火していたことが判明しました。

天頂山と雄阿寒岳については、単独峰として新たな活火山に選定します。

風不死岳については、樽前山に隣接していることから、樽前山に含めます。

これにより、国内の活火山の数は、従来の 108 から 110 となります。

火山噴火予知連絡会は、火山に関する基礎的な知見を取りまとめる一環として、火山地質学的な研究の進展を踏まえつつ、活火山の選定を行ってきています。

前回は、活火山の定義を国際標準に揃えて「概ね過去 1 万年以内に噴火した火山及び現在活発な噴気活動のある火山」として、平成15（2003）年に選定を行っており、活火山の数は108となっています（【別紙 1】参照）。

前回の選定後も火山地質学的な研究が進展し、北海道内の 3 火山（天頂山、雄阿寒岳、風不死岳）について、過去 1 万年以内に噴火していたことを示す研究成果が発表されました。このため、火山噴火予知連絡会は、これら 3 火山について詳細に検討を加えた結果、これらの 3 火山は活火山基準に該当すると結論しました。

このうち、天頂山と雄阿寒岳の 2 火山については、単独峰として新たな活火山に選定するとの結論を得ました。また、風不死岳については、既に活火山として選定されている樽前山に隣接していること、及び過去の噴火活動の推移等から、両火山は一連の活火山とみなせると考え、樽前山と風不死岳を一括して「樽前山」に含める（樽前山について活火山として認識すべき範囲を拡大する）との結論を得ました。

これにより、国内の活火山の数は、従来の108から110となります（【別紙 2】及び【別紙 2 付表】をご参照下さい）。

新たに活火山に選定された 3 火山の詳細については【別冊】をご参照下さい。

なお、今回の新たな活火山の選定は、それぞれの火山の噴火が切迫していることを示すものではありません。

【本件に関する問い合わせ先】

気象庁 地震火山部 火山課

電話：03-3284-1749